

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月06日

計画の名称	快適で安全安心な生活環境の実現（第Ⅱ期）（重点計画）												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	新居浜市												
計画の目標	公共用水域の保全と都市環境の改善のため、効率的に公共下水道整備を行い、快適で安全安心な生活環境の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,380	A	1,380	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4末)	中間目標値 (R7末)	最終目標値 (R9末)
1	下水道整備区域内人口普及率を向上させる。 下水道整備区域内人口普及率 下水道処理区域内人口（人）/下水道整備区域内人口（人）	85%	88%	89%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R05	R06	R07	R08	R09					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠 (新設	汚水管渠 (新居浜処理区	管渠布設 L=10km	新居浜市	■	■	■	■	■	1,100		—		
	A07-002	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠 (新設	調査設計	管渠設計	新居浜市	■	■	■	■	■	160		—		
	A07-003	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	—	—	ウォーターPPP導入検討調	導入可能性調査等	新居浜市	■	■	■	■		120		—		
												小計						1,380			
												合計						1,380			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	166				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	166				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	129				
翌年度繰越額 (f)	37				
うち未契約繰越額 (g)	14				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	8.43				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

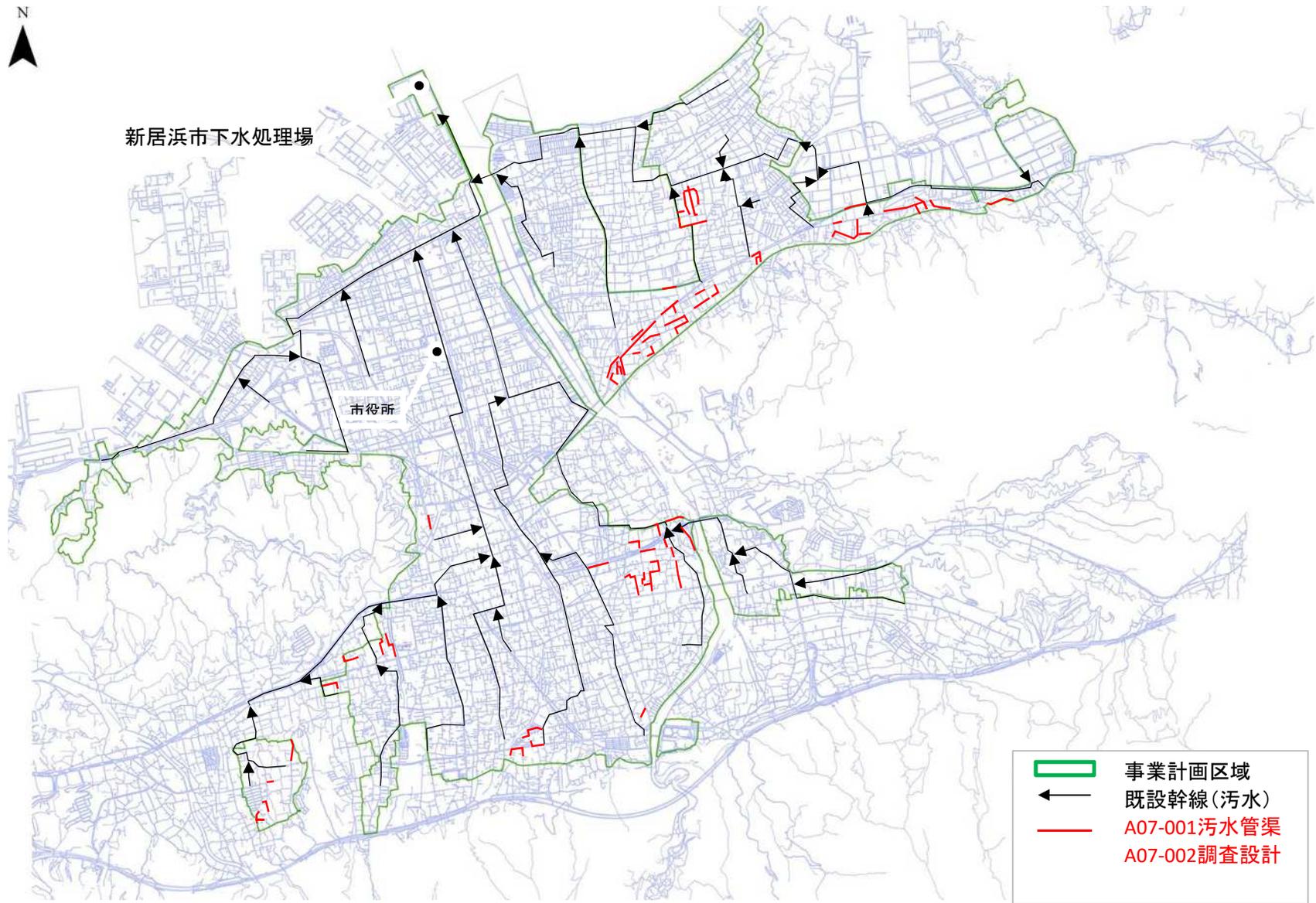
事前評価チェックシート

計画の名称： 快適で安全安心な生活環境の実現（第Ⅱ期）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性が確保されている。	
I. 目標の妥当性 1) 社会資本整備重点計画、愛媛県全域下水道化基本構想等、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 総合計画、環境基本計画、都市計画マスタープラン等、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域課題（定住促進、安全・安心の確保等）を踏まえた目標設定となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 広域的観点から、整備地区の位置づけが行われている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と定量的指標（数値目標）の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画について住民等との合意形成ができている。	○

計画の名称	快適で安全安心な生活環境の実現（第Ⅱ期）（重点計画）		
計画の期間	令和5年度～令和9年度（5年間）	交付対象	新居浜市

新居浜処理区計画図



- 事業計画区域
- 既設幹線(汚水)
- A07-001汚水管渠
- A07-002調査設計